

## 株式会社 商船三井が発行する 「サステナビリティボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 柳沢祥二、以下「当組合」）は、株式会社 商船三井が発行する第 22 回および第 23 回無担保社債（サステナビリティボンド、以下「本両債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2019 年 7 月 19 日）。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が①環境改善効果があること（グリーン性）および、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

本両債券の資金使途については、株式会社 商船三井が策定したグリーン及びソーシャルプロジェクト（①フィリピン商船大学の設立、②ワークプレイス改革推進、③バラスト水処理装置、④SO<sub>x</sub>（硫黄酸化物）スクラバー、⑤LNG燃料船、⑥LNG燃料供給船、⑦新型PBCF、⑧ウインドチャレンジャー計画）に充当する予定であります。

また、本両債券は、株式会社日本格付研究所から 2019 年 7 月 12 日付で「JCR サステナビリティファイナンス評価」において最上位評価である「SU1」の評価を取得しております。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上